

川や海での遊びには十分注意しましょう！

暑い夏は、水のレジャーによる水難事故が多発します

夏は、川や海などの水のレジャーが楽しい季節ですが、川や海は、プールと違って波や流れなどがあり、大人が近くにいっても流されてしまうことがあります。海辺や川辺で、誰かが溺れてしまったら、あなたならどうしますか？



①助けを呼ぶ

まずは周りの人に助けを求めて、なるべく多くの人を集めます。

②役割分担をする

人が集まったら、119番通報する人、協力して助けてくれる人などを決めます。119番通報する人には、顔を見て「あなたをお願いします」と伝えてください。

③道具などを使って助ける

溺れている人はパニック状態のため、飛び込んで助けに行くと引きずり込まれて二重事故になる場合があります。浮力のあるもの（浮き輪やペットボトル、クーラーボックス等）を投げてあげる。ロープ、長い棒などを使って岸に引き寄せるなど、道具を利用して救助してください。

大人の足がつく場合は、岸から数人で交互に手をつないで救助してください。

④応急処置をする

溺れた人を陸に引き揚げたら、なるべく平らな場所に寝かせましょう。

- 大きな声で呼びかけ、反応は無いが、しっかり息をしている場合は、回復体位で救急車を待ちください。



- 大きな声で呼びかけても反応が無く、息もしていない場合は、すぐに胸骨圧迫し、救急車を待ちください。



※救急車のサイレンが聞こえたら道路上に案内する人を出し、救急車の誘導をお願いします。

水柱

郡上市消防本部



とりカエル君の『わかりやすい住宅用火災警報器講座』No.5

今回のとりカエルとおやじ&マダムのはやりとりはなんでしょうか。

【マダム】

先日、近所のお友達とランチで女子会だったのお。そこで住警器を設置してない人がいらして、機器が高くて、いまだに購入してないらしいんですわよ。



【おやじ】

そりゃ、ランチ代を削れば、住警器ぐらい買えるんじゃないか。



【とりカエル】確かに、そうかもしれませんね。



住警器は、メーカーや種類によって値段が色々ですが、無線連動型（一つが機2器セットの物で2万円だと

すると、購入から約10年は使用できるもので、1年あたりのコストは2千円。

ランチの金額を少し抑えることで住警器を購入することができますね。

【おやじ】

だろ。俺の言ったとおりじゃないか。

【マダム】

いいえ。女子会を少なくすることはできませんから、主人のお小遣いを減らしますわ。

【とりカエル】

近年は、無線連動型の機器が普及しています。みなさんも住警器の更新の際には無線連動型を検討されてみてはいかがでしょうか。それではみなさん、またお会いしましょう。



消防本部
67・0119

